

# 楓の森アップ°デート



学校教育目標：夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成

合志市立合志楓の森小学校  
学校だより 第2号

令和5年(2023年)5月9日  
文責 校長 佐藤 政臣

## 集中して学習する子どもの姿

### ～ まずは聞く力を育てよう ～

毎日、各クラスの授業を見えています。その中で、教師を見て、話をしっかり聞いている子と手遊びしている子、他の方を向いている子など、様々な子がいます。

そこで、教師は、「手をひざの上において先生の方に向きなさい。」と指示し、目を教師の方に向けて、話を聞かせます。

これは、教師の話をしっかり集中して聞かせるためのテクニックですが、なぜ、そのような指示をする必要があるのでしょうか。それは、脳に関係しています。

人の脳は、情報処理をする際に、作業台のような存在であるワーキングメモリーを使います。同時に使えるワーキングメモリーには限界があり、作業台に乗りきれない情報を、脳は処理できません。このとき「どんな情報を作業台に乗せるか」を決定づけるのが、いわゆる「意識」や「注意」です。

例えば、音楽を聞きつつ、お菓子を食べつつ、本を読みながら、人の話を聞いたとしましょう。この時点で脳は4つの作業を同時に処理することはできません。音楽に意識が向いた瞬間に活字情報は、処理できなくなります。人の意識には限界があります。先生の話聞く時に、集中できずに教科書の違うところを見たり、友達に気をとられたり、鉛筆や消しゴムが気になってさわっていたり、学習とは関係ないことをしていたりすると、意識を無駄遣いしているわけですから、授業を受けていても「受けていないことと同じ状態である」ということです。

それとは、逆に教師を注視して、教師の話が聞ける子どもは、ワーキングメモリーが整理された状態ですから、高い集中力で深い思考を発揮できるというわけです。**「集中して聞く力」は、学力形成の根本である**といえます。学力の高い子、伸びる子は、例外なく、集中して聞くことができる子です。

## ～ 企画委員会主催 新入生歓迎会 ～

4月28日(金)、新入生歓迎会を企画委員会主催で行いました。

先日、企画委員会の子どもたちが、校長室に来て、「校長先生、ジャンケン大魔王になってください。ノリノリでお願いします。」と、お願いされました。企画委員会の頼みならしかたがない、ということでノリノリでジャンケン大魔王になりました。

ジャンケンゲームは、ジャンケンをして「負け」や「あいこ」は座っていくというゲームで、「勝ち」だけが残っていきます。まず、企画委員会の子どもとジャンケンし、立っている人数が絞られてきたところで、私がジャンケン大魔王として登場しました。私とジャンケンし、最後まで残った4名の1年生にご褒美として、校長印がついた賞状を渡し、大いに盛り上がりました。企画委員会の皆さん、企画・運営ありがとうございます！



## 保護者・地域の皆様

### 登下校の見守り お世話になります



本校の周辺の朝の時間は、交通量が多く、スピードをだしている車も多い現状です。保護者・地域の皆様には、

子どもたちが安全に登下校できるように見守っていただきましてありがとうございます。おかげさまで子どもたちは元気に登下校できています。

## ～ 運動会を通して育てたい力、クラスの団結力 ～

連休が明け、運動会の練習が本格的に始まりました。運動会は、心に残る行事の1つです。運動会に練習から本気で取り組むことで、「集団行動力、団結力、集中力、連帯する力、協力する力、規律ある態度、フェアプレーの精神、勝敗への正しい態度等」、様々な力が身につきます。そこで培ったクラスの団結は、その後の学級の姿に大きく影響します。本番の運動会では、全力で走ったり、友達と息を合わせて踊ったり、きびきびと行動したりする姿にご期待してください。

